

## 協働推進部門の今後の活動

シビルNPO 連携プラットフォーム常務理事 協働推進部門担当  
日本ファシリティーマネジメント協会 イノマツ M/I 研究部会副会長  
インフラメンテナンス国民会議 実行委員  
アイセイ（株） 代表取締役 **岩佐 宏一**



『自分が頑張っても何も変わらないから、やるだけ無駄』、『くたびれもうけ』なんて言葉が似あっている部門かもしれませんね。

結局、与えられた公共、そう道路や河川、空港、港湾等々使う側は自分の使い道も考えなしに、ポットできてきたものを使っている。何もないところに勝手にできて、でもあったらいいから重宝する。でもそのインフラが無くなったら、勝手な言い分で、無くなったら困るからしっかり管理してくれ。なんて声が当たり前のように湧きだっている。所詮、人は自分の有益性を独り占めにしようとする性質があるので、自分ひとりで生きていける！ような人は我関せず、『誰かがやるよ』へ向かうのでしよう。

では、今後社会が連携してインフラ施設の老朽化に対して解決するためにはどうすべきなのか。

綱引きでお馴染みのリングルマン効果で導くと、一人ひとりに役割を与える。すなわち大多数に課題を投げかけるのではなく、地域であればモデル地区を決め、組織であればこの組織、と決め実行する必要があります。あとは同調性の高い高い国民ですのでいわずもがな、克服へ向かうことを期待します。

多くの社会的主体が協力し合える活動を後押しする、協働推進部門の活動内容は下記の通りです。

- ①市民参画の重要性の理解と、教育現場への展開
- ②協働の支援組織の活動サポートとして、コーディネーターの養成や派遣
- ③多種多様な事例を調査分析することで見えてくる、効果的な仕組みの採用

これら3つの活動は『日常的に市民と行政が協働でインフラに関わっている』を目標とした当部門の行動計画となり、その先の姿は

★市民がインフラの簡単な点検や清掃活動に参加しながら、インフラメンテナンスの大切さと価値を理解している。

★市民と行政が協働で公共インフラの維持管理・更新、および集約・再編については計画段階を含め参画して、相互理解し合意している。

★市民と行政がインフラの新しい価値創造に取り組んでいる

これらの活動を通し、インフラメンテナンス国民会議 市民参画フォーラムという組織と関わり合いながら土木と市民社会、市民社会と行政、さらに行政間を『つなぐ』役割を担い、地域活性化に関わる活動を行います。みなさまも、この『つなぐ』活動にご一緒しませんか。